

**製品名: GIRK1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87156**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:100-1:500
分子量	Calculated MW:57 kDa; Observed MW:57 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GIRK1
別名	KGA; GIRK1; KIR3.1
遺伝子ID	3760
SwissProt ID	P48549
免疫原	ヒト GIRK1 の合成ペプチド

**背景**

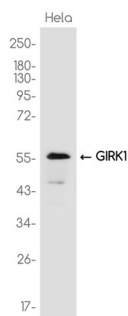
カリウムチャンネルはほとんどの哺乳類細胞に存在し、幅広い生理学的反応に関与しています。この遺伝子によってコードされている

タンパク質は、膜貫通タンパク質であり、内向き整流型のカリウムチャンネルです。このタンパク質は、カリウムを細胞外に排出するよりも細胞内に流入させる傾向が強く、Gタンパク質によって制御され、心拍の調節に重要な役割を果たしています。このタンパク質は、他の3つのGタンパク質活性化カリウムチャンネルと会合してヘテロ多量体ポア形成複合体を形成し、脳内の神経伝達物質受容体にも結合します。このチャンネル活性化は、細胞膜を過分極させることで活動電位の発火を抑制します。これらの多量体Gタンパク質依存性内向き整流性カリウムチャンネル（GIRK）は、てんかん、依存症、ダウン症候群、運動失調、パーキンソン病の病態生理において役割を果たしている可能性があります。選択的スプライシングによって、異なるタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2012年5月]

## 研究分野

-

## 画像データ



GIRK1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。